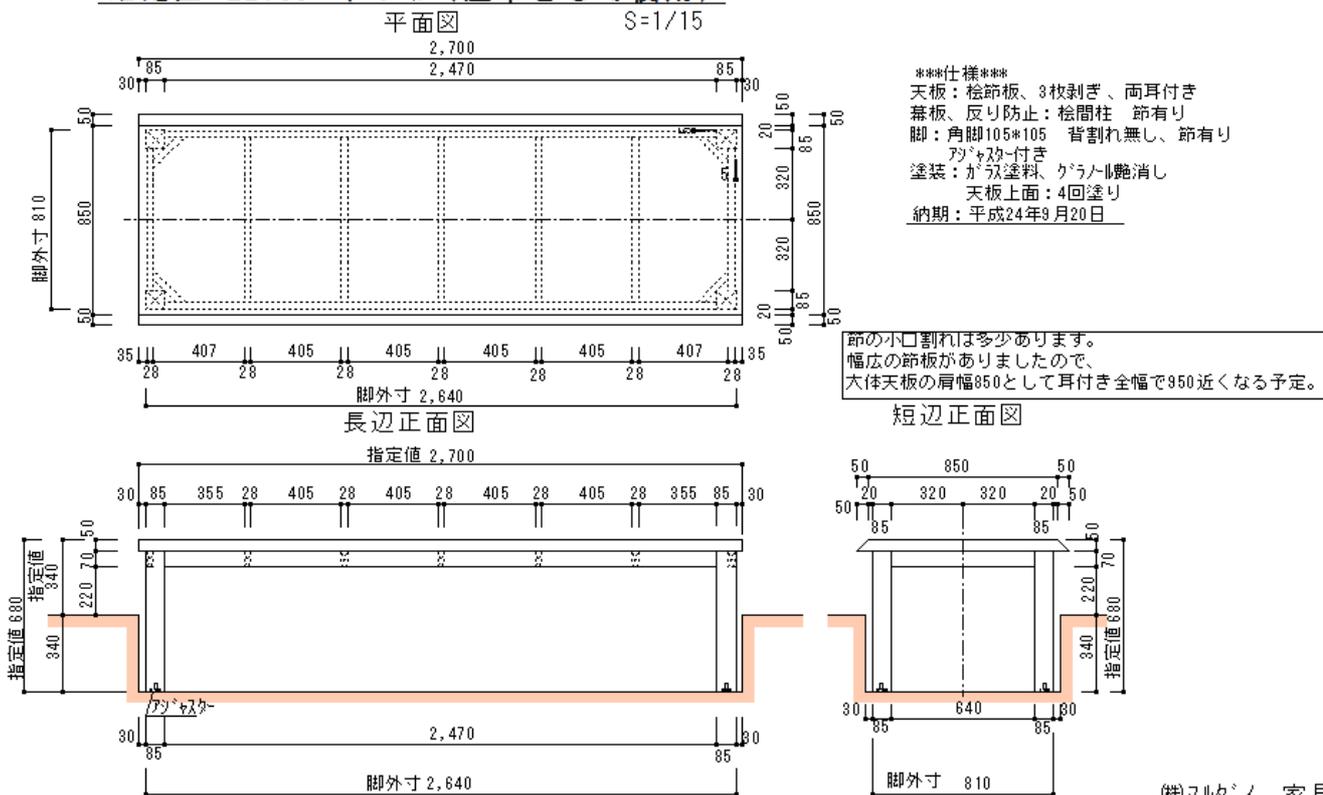


桧節板の L2700 の座卓の製作について

今回の依頼は桧の節板、耳付きの L2700 の掘り座卓の製作です。また、炉箱については工務店様側で製作し、炉箱床面から足が立ちテーブルの製作と変わりません。

ここで、天板は 3 枚剥ぎ程度で両耳付きになるように木取ります。そこで、乾燥材で即使用可能な材を弊社の長期在庫品より節板 3 枚選び、木取ることになりました。

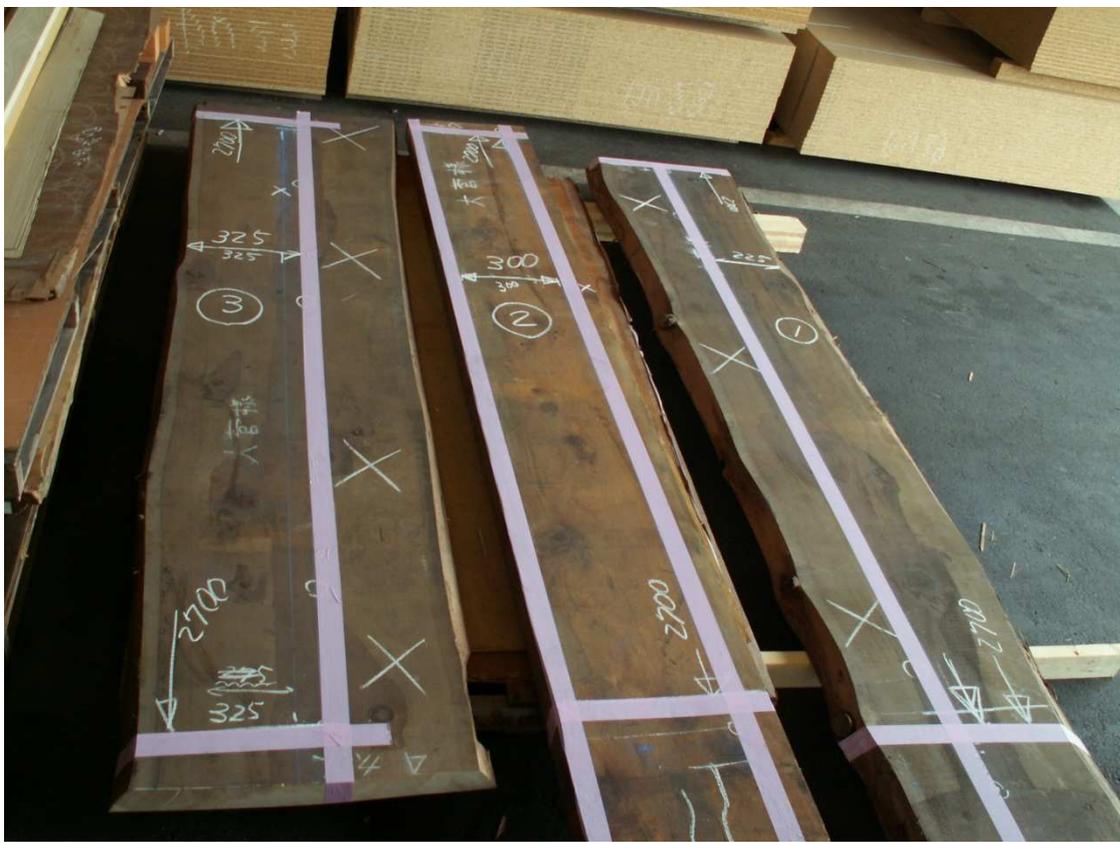
確定図 L2700 テーブル（座卓として使用）



(株)マルタイ 家具部
平成24年9月5日



節板は 5000 物で
 板厚 70 mm 程度です。
 ● 印の 3 枚を使用し
 ます。



希望の板幅になるように耳の形状を見ながら天板上面の最小奥行を図面どおり 850 として
 接合面の節を避けながら、上の画像の位置で①耳付き、②、③耳付きを木取り剥ぎ加工しました。

また、長尺の耳付きの剥ぎ加工は耳のため圧着しにくいいため敬遠する工場もありますが、接着をより
 強固にするため、ボルト締めを行い、共材にて埋木処理しています。



★ 印位置がボルト締め埋木位置です。





炉箱は、図面確定後、大工さん側で製作しました。

裏の反り防止柵は接着材を使わず、ビス固定のみとして無垢天板の動きを多少でも吸収できるようにしています。

脚にはアジャスターシューを組み込みガタつき等の対応をしています。

アジャスターシュー埋込み有り。





天板の節の割れ、抜き節等は埋めています。

また、剥ぎ板箇所の板の色合いが極端な差がなくてよかったです。



塗装はガラス塗料グラノール艶消しです。天板は4回塗っていて、艶消しであっても4回塗りますと若干艶が出てきます。それでも、ウレタン塗装には無い木の肌の味が伝わってきます。

この居間では家族以外でもの寄り合いが多くあり、この座卓が活躍されると思います。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成24年9月24日